













平成30年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
1	『岸和田城 百間堀 消防署へ続く道』 岸和田城、百間堀横の道です。この道は、二ノ丸広場から消防署へ向かう近道です。小さな子供の手を引いて、よく消防車を見に行きました。二ノ丸広場でポップコーンを買って、市役所の下公園へ。終われば上の公園へ。また、終わればこの堀に。アヒルにポップコーンをあげて遊びます。なかなか消防車まで辿り着けません。車の心配もない、静かな道です。今はカキツバタがきれいです。その子供ももう結婚2年目、孫ができれば、また手を引いて、お父さんの話でしながら歩きたいですね。(56歳男性)	
2	『日没前』 田植の頃お天気の良い日は最高のロケーションです。ずっとこの景観は失われずに続いてほしいと願っております。(64歳女性)	
3	『桜の花と神社』 今木菅原神社 児童公園から。子供の頃から、遊んでいた、普段は何もない静かな神社。桜の時期は、花見をする人も少なく、静かに見れます。岸和田市内に桜の木がある神社は少ないのではないのでしょうか。(53歳男性)	
4	『ご来光』 早朝久米田池にて(82歳男性)	
5	『高野の祈り』 高野山から来訪されお祈りをされた。(82歳男性)	
6	『峠の星祭り』 毎年の星祭り(七夕)には、岸和田市上白原町の峠頂上付近にある松本正幸氏は宅横にある広場に於いて、同町から通学する生徒並びに来賓として、岸和田警察署長、学校長、毎朝の指導にあたる駐在所員、学童の見守隊の人々を呼び、世界・日本・岸和田市のこどもたちの安全や安心・まちの人々の幸せを願いの糸に託し、星祭りを行います。筆者もそのひとりとして招待を受け参加します。こころに残る景観として是非推薦します。 ○学童の見守隊の 息白し ○こどもらの 安全いのる 星祭り 赤心子(せきしんし) (78歳男性)	

平成30年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
7	『輝く岸和田城』 2018.6.13 がんこで食事して出てくると岸和田城の空がきれいだった。午後8時ごろです。(77歳男性)	
8	『港の夕景』 夕日の光線が綺麗だったので港の方へ進んで行った。結構、人が集まって来ていて、皆それぞれに思い思いの時間を過ごしている様に思えました。(64歳女性)	
9	『夏ごえ 神事 千亀利神社』 毎年、ここへきて無事に夏をこえさせていただいて感謝しています。今年もさあがんばるぞと気を引きしめていただいています。(44歳男性)	
10	『秋の訪れ』 涼しくなってきた久米田池を自転車でまわっていると、気持ちよく秋らしい風景だったので撮影しました。秋の日の出頃の時です。(44歳男性)	
11	『久米田池 水かがみ』 よくいく久米田池で、写真を撮っていたら天気がよく、波も少なく、池にかがみのように空や山や街並が写っていました。(44歳男性)	
12	『春らんまん』 多宝塔の横に、しだれ桜等きれいに、咲いていました。光の加減も良く、よい風景だと思い撮影しました。(44歳男性)	



平成30年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
13	『夏真盛り』 前から夏の入道雲を撮りたくて、いつも空をよく観ていたんですけど、今年は暑かったわりに、入道雲があまり出てくれなくて、やっと撮れた景色です。(44歳男性)	
14	『積川町の元本街道』 積川神社から少し海側に行き、細い路地を左に入ると元信貴本家酒造の工場と本宅があった通りが出る。狭い道だが昔はここが本街道だったそうです。今にも杜氏さんたちの声が聞こえてきそうな佇まいです。ここで使われていた酒造の際に米を蒸した『甑釜(こしがま)』という大きな大きな鉄の鍋が岸和田城の城門に入ってすぐのところ展示されています。当時のままの長く続く塀とともに、酒造りの盛んだったころがしのべれます。(63歳女性)	
15	『摩湯山古墳 秋祭り』 岸和田市にはたくさんの古墳がありますが、その中のひとつの摩湯古墳は国の史跡に指定されている前方後円墳で普段は立入禁止になっています。子供が小さい頃に一度見学させてもらったことがあります。そんな歴史を感じさせる場所をだんじりが走っているのを見ることが出来るのは、なんとも不思議でロマンを感じずにいられません。これからずっと時が刻まれるのを見届けることでしょうか。(54歳女性)	
16	『夕暮れ』 日が暮れてだんだんと暗くなっていく静かな時、ブレーキランプの灯りがガードレールに反射すると、今と昔の時間が交錯するようなそんな気にさせてくれる摩湯山古墳の交差点。(54歳女性)	
17	『蜻蛉池公園のアジサイ』 蜻蛉池公園のバラ園は知っていましたが、アジサイもこんなに咲いているのですね。アジサイの涼しい水色のおかげで蒸し暑い日でもゆっくりとアジサイを見ることができました。たくさんの種類のアジサイが咲いていて、見ごたえがありました。市内外問わず、たくさんの人に知ってもらいたいと思いました。(22歳女性)	
18	『浜工業公園の八重桜』 浜手に住む方から、浜工業公園に八重桜が咲いていると聞いて初めて来ました。八重桜が満開でとてもきれいで、ベンチ等のゆっくりできる場所が欲しいと思いました。見に来ている人も少なく、こんなにきれいに咲いているのにもったいないな、と思いました。岸和田の隠れた桜スポットです。(22歳女性)	






平成30年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
19	『沼の天神さんの十日戎』 たくさんの人で賑わう沼の天神さんの十日戎。福を授かるために、餅まきの時間に合せて続々と人が集まってきます。(22歳女性)	
20	『愛彩ランド近くの緑地』 愛彩ランドの近くにあるこの場所は、昨年岸和田市のイベントで初めて訪れたのですが、とても昔懐かしい感じがしました。岸和田ブランドのにんじんである彩誉の収穫体験をし、この場所にある井戸で洗ってその場でかじりました。青空の下で食べる彩誉は、生でも甘くておいしかったです。写真を見ると思い出します。(22歳女性)	
21	『もみいづる大威徳寺』 昨年岸和田市のイベントで訪れたときに撮った写真です。この角度から見たり写真を撮ったりする人が多い気がします。岸和田市にずっと住んでいますが、紅葉の時の大威徳寺に初めて来ました。まさに岸和田市の紅葉の名所ですね。秋の紅葉はもちろんきれいですが、夏も涼しくて気持ちいいです。市内外問わず、たくさんの人に知ってもらいたいと思いました。(22歳女性)	
22	『#波止場野郎』 #岸和田市 #地蔵浜町 #港マルシェ #波止場野郎 (44歳女性)	
23	『久米田池の夏祭り』 久米田池の風物詩となっている夏祭り。多くの人々が楽しみにしている打ち上げ花火が祭りのフィナーレ。夕暮れ時に湖面を見ながら遊歩道を散策するのもお勧めです。(48歳男性)	
24	『玉ねぎの碑』 府道岸和田港塔原線沿いにひっそりと佇む玉ねぎの碑。地域の人々により維持され、傍らにはきれいな桜が咲いていました。(48歳男性)	





平成30年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
25	『ラパーク春木だんじりまつり景観 ようこそおもてなしの街ラパークへ』 春木だんじり祭り9月15日の南海春木駅前商店街からラパーク広場から府道堺阪南線のだんじり12台の曳行、パレード曳行景観には心はなやぎ、元気頂く。 岸和田の少年若者、少女女性のだんじり曳行者の祭姿に惚れ惚れする。 又、さらにはだんじり曳行景観の神殿燈の姿は岸和田の誇りであり、だんじり姿を華やか、又観覧席も人々の生き姿魅力が発揮されている。	
26	さらには、ここでしか見られないだんじりごとの独特の空への風船飛ばしなど観覧車への祭り参加の楽しさを引き立てる。 更に、だんじり曳行姿、やりもわし、府道曳行も、若者のだんじり装束顔かくし、女性の髪姿も濡ればれし、祭りの楽しさを岸和田の歴史、文化、生活景観の魅力をラパークは春木駅、競輪場に近く岸和田の魅了生産品が堪能できる商店街の建物でありますよ！！(78歳男性)	
27		
28	『畑町 こころ温まる稲田の秋景』 畑町一丁目は津田川と貝塚支流に囲まれた稲田農地の広がる田園地区で、今でも「心のこもった案山子群」が姿見せ大切な稲穂を守ってる、その姿は畑町への「愛」がこもってる。 さらに稲穂の姿は秋の季節感を引き立て、畑町の風景を輝かせている。 さらに稲田の畦道には秋の花王「彼岸花」が咲き乱れているよ！！	
29	素敵ですねって「案山子」に話しかけ、「彼岸花」、稲穂の実り見物と9月から10月にかけて畑町に出かけ、家族、友達、美術、芸術に興味、興味の方々、景観楽しみましょう。(78歳男性)	
30		

平成30年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
31	『春木西福寺』 室町時代に創建されたと伝わる西福寺。紀州街道から石畳と松が佇む参道を進み山門を抜ければ大きな楠と本堂が目の前に現れ、たちまち本寺の歴史を感じる事ができる。 春木地区のまち景観を象徴するものである。(48歳男性)	
32	『春木川に架かる永守橋』 紀州街道を横断する春木川に架かる永守橋。川を越えるため急こう配となっているのが特徴的。 欄干にはだんじりを描いたモニュメントが設置され、地域を特徴づける景観だと思います。(48歳男性)	
33	『城跡の名残り』 浜地区の中町に残る石垣。その昔ここから浜側は海岸線だったそう。 今では家が立ち並び違和感さえ感じるが、当時の町並みを今に伝えるまち景観だと感じました。(48歳男性)	
34	『神於寺の参道』 神於寺に至る参道は坂道となっているため歩くと息が切れる。しかし、桜が咲く頃はその参道を見事に彩り辛い参道も美しい景観となる。 そして境内からの眺望は美しくまた来たいと思わせてくれる。(48歳男性)	
35	『水道みち』 通称「水道みち」と呼ばれる道がある。実りの秋には農家の方々が丹精込めて育てた黄金色の絨毯が一面に広がり、岸和田らしい美しいまち景観を楽しむ事が出来ます。(46歳女性)	
36	『蛸伝説を伝えるレトロ建築(南海蛸地蔵駅)』 蛸地蔵伝説が描かれたステンドグラスが設置された駅舎は大正時代に建てられた貴重なレトロ建築であり、地域を象徴するまち景観だと感じました。(48歳男性)	

平成30年度「こころに残るまち景観」エピソード集

番号	エピソード	写真
37	<p>『天神山にて癒しのスポット』 天神山の住宅地にある公園に一本の綺麗な桜を見つけました。もちろん道路沿いの桜並木も美しいですが、公園のベンチに座りこの一本桜を見ていると時の流れを忘れさせてくれます。街には色とりどりの花が咲き、地域の方々の心遣いを感じるまち景観です。(46歳女性)</p>	
38	<p>『塔原町 やた講』 塔原町には古くから伝わる伝統行事が今なお多く残っています。そのうちの一つ「やた講」は、やた地蔵堂に女性が集まり大師講(やた講)が行われる。お参りが終わるころにはお供えの振る舞いを期待して大行列。子供たちは袋一杯のお菓子やパンを持ってご満悦。地域のつながりを感じるまち景観でした。(46歳女性)</p>	
39	<p>『台風の爪あと』 妹とよく歩いた久米田池沿いの遊歩道。春には満開の桜を咲かせ、秋には葉を色付かせて綺麗な紅葉を見せてくれた。いつも私たちの目を楽しませてくれていたが、先日の台風21号の影響で多くの桜の木が折れてしまい無残な姿となっていた。今は桜の木たちは身を挺して、折れた姿を見せ災害に備える大切さを伝えてくれている。(72歳男性)</p>	
40	<p>『楽しかった山直ホーム』 山直中町にある山直ホーム。短期の利用で少しの期間を利用した。最初は緊張したけど、スタッフは優しくすぐに慣れ、とても楽しい場所になった。庭に出ると空気がおいしくそこから見える山を眺めていた。山直ホームのみんな、ありがとう。また会いたいよ。(58歳男性)</p>	
41	<p>『写真部の仲間と行基参り』 作業所が休みの日には愛犬のラッキーを連れて、お父さんと一緒に久米田池を散歩している。とても気持ちよく楽しいひと時。先日は家族とではなく作業所の写真部の仲間と久米田池を歩き、久米田寺を参拝した。みんなで鐘を鳴らして、日々の感謝を伝えた。(25歳男性)</p>	